



伝統のささら踊り

7月26日、9団体約230人が参加した「第36回相模ささら踊り大会」。「ささら踊り」は、県の無形民俗文化財に指定されている踊りです。竹を短冊形に切って、一端を紐で縛り合わせたお馴染みの「ビンササラ」と小太鼓でリズムをとりながら、歴史ある踊りを披露しました。



みんなで踊ろう！ えびなで踊ろう！

7月28日、海老名運動公園陸上競技場で「えびな盆踊りフェスティバル（えび盆）」を開催。約4,000人が来場しました。婦人会や市民の皆さんで踊りの輪が大きく広がり、暮れ行く競技場に彩り豊かな夏の花を咲かせていました。



夜の海老名を歩く ナイトウォークラリー

進行方向が書かれたコマ地図を参考に、夜の海老名のまちを歩くナイトウォークラリー。ことしは7月14日に開催し、193組631人が参加しました。スタート地点では、えび～にゃがみんなをお見送り。ゴール地点では豚汁が振る舞われました。



涼やかな音色に癒されて…

7月20・21日、「第10回相模国分寺風鈴市」を開催。風鈴をはじめ、朝顔やほおずきなど夏の風物詩の展示即売のほか、トライアングル交流都市の白石市、登別市の物産販売も行われました。ずらりと吊り下げられた風鈴は、材質・形・色ともに多種多様。絵付けコーナーも大人気でした。



海老名の熱い夏！ 13万9,000人が来場

7月22日、夏の恒例イベント「えびな市民まつり」を開催。ことしは子育てフェスティバルも同日開催しました。来場した皆さんの表情は、笑顔・笑顔・笑顔！お目当てのステージを見て、ブースを回って…と、笑顔はじける1日となりました。



エビーとビーナのお世話係です

昨年に引き続き開催した「夏休みポニーふれあい教室」。ポニーの身だしなみを整えたり、馬房の掃除や食事の用意など、やる事がたくさん。乗馬の体験もしました。参加した子どもたちは、立派なお世話係になりました。

むかしの人に思いを寄せて… 道具作り体験！

7月31日～8月3日の間で行われた体験講座で、「まが玉」や黒曜石の「矢じり（石器）」、「土器」を作りました。参加した子ども達はみ

んな真剣。完成した作品を前に、達成感いっぱい笑顔がはじけます。いにしえびとの道具作りで、物を作る楽しさなどが体験できました。

